

ハンギングバスケットを作ってみましょう。

埼玉県で10月下旬～5月上旬までロングランで楽しめる「ビオラ」をメインに基本型の植え方をご紹介します。

用意するもの



スリットバスケット、専用スポンジ、培養土、緩効性肥料、土入れ、棒、水ごけ



ビオラ9株、スイートアリッサム1株
ヘデラ1株
(いずれも3～3.5号のポット苗)

◆ さあ、始めましょう！

①材料を調える



スリットバスケットに専用スポンジを張ります。前もって側面に培養土を付け、スポンジの粘着を取り除きます。緩効性肥料を混ぜ込んだ培養土をバスケットのスリットの線まで入れます。

②花苗の扱い方



花苗の土はスリットを通しやすくするため株元のまわりをやさしく落とします。落とすすぎないように注意しましょう。

③花苗を植える



(1段目)
ヘデラとビオラ3株を横に向けてゆっくりとスリットに通していきます。容器の中に葉が入らないよう、外に根が出ていないようにしましょう。



苗の間、容器の隙間に棒(割箸)などを使いしっかりと培養土を入れます。



(2段目)
1段目の隙間に収まるようにビオラ2株をスリットに通します。スリットをつまむと苗が植えやすくなります。



(3段目・天部)
容器の縁より土が高くないように3段目までを植え込みます。天部は、スリットを通さずに、縦に植えます。

ポイント

Point
1

植物の性質や色合いを考えて植え付けるレイアウトをデザインしましょう。

Point
2

それぞれの植物がいきいきと生長できるように、間を取りながら植え付けましょう。

Point
3

苗と苗の間、苗と容器の隙間にしっかりと土を入れましょう。

④仕上げ



棒で確認しながら、隙間にしっかりと土を入れます。水で戻した水ごけを容器の前の縁と表面の土の上に5ミリ程度の厚さで敷きます。

⑤完成



完成したら、水ごけを濡らすように、たっぷりと水を与えましょう。

◆ 育て方

- 土が乾いたら水を与えましょう。水ごけを濡らすように、「ゆっくりと」、「たっぷり」と。容器の底からぼたぼたと落ちるまで行います。水やりの回数は飾る場所によって異なりますが、毎日様子を見ましょう。
- 咲き終わった花はこまめに摘み取りましょう。
- 植物が育つ環境にあった場所(今回のハンギングバスケットは日向)に飾りましょう。

一般社団法人 日本ハンギングバスケット協会
<http://www.jhbs.jp>

